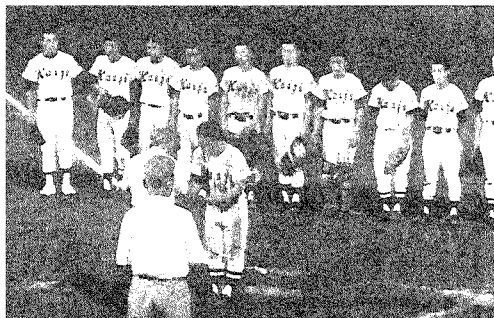


わかとり国体出場権獲得

かいじクラブ・神奈川代表に快勝!!



第四十回国民体育大会関東地区大会、軟式野球少年の部が去る九月七日群馬県太田市総合運動公園にて開催され、わかとり国体への出場権をかけて熱戦を繰り上げました。我が都留かいじクラブは雨天の悪条件の中にもかかわらず、強豪神奈川県代表日本冶金クラブを4対1にて破り代表権を獲得。来る十月二十一日わかとり国体（鳥取県）八頭郡家町宮郡家球場で行われる大会に出場することになりました。選手一同山梨県代表として、又都留市のため闘志を燃して練習に励んでおりますので、是非とも、市民の皆様方のご声援をお願い致します。

かいじクラブ

監督 安富健二（市役所）
コーチ 岩田匡宏（"）
コーチ 加藤正広（"）
コーチ 小俣秀樹（"）
顧問 中村 実（谷工教諭）
顧問 渡辺昇成（桂高教諭）
選手 谷村工高…佐藤輝正
市川英寿、小川正仁
西室克巳、平井 剛
鈴木裕二、高部裕司
伊藤功一、森島秀樹
三井正行、尾島正紀
桂高…熊坂昌彦
関戸康浩、篠塚正義
岡山 保、村松 徹
松村龍豊、小林孝男
マネージャー
岩沢由美子（谷工）
白井そのみ、永井こず恵、三枝弘子（桂）



守りの要

「六番キャッチャー市川英寿君（市川君は、三人兄弟（姉・弟）の長男です。小学校時代は宝の少年野球チームで活躍、中学に入ってから、外野手



として県大会にも出場、野球をよく知っている選手です。かいじクラブではキャッチャーとして鈴木君をリードするとともにチームのけん引役でもあります。

冬場の厳しいウエイトトレーニングなどによってつくられた足腰と肩は、なかなか盗塁をゆるしません。

相棒の鈴木君は「自分のことをよく理解してくれるキャッチャーです。また、親友で話してくれました。」

市川君は最後に「かいじクラブで野球ができて楽しい。くいのない高校生活を送るた

めにもがんばります。」と語ってくれました。

十月二十一日から始まるわかとり国体ではがんばって下さい。

かいじの主砲

四番・エース…鈴木裕二君

鈴木君は、一人っ子です。両親の愛情を一身に受け育てられました。そんな彼が野球に興味を持ちだしたのは小学校四年生の時。以来中学・高校と野球一筋。今ではかいじクラブのエースとして、また四番として部員からも監督からも絶大な信頼を得ています。毎日の厳しい練習を終えて帰宅する鈴木君にとって家庭は憩いの場所です。父親との野球談義、息子の体調を心配しながら食事の献立を考える母親、家ではいつも会話がたえないとのこと。

親友でもあり、相棒でもあるキャッチャーの市川君は、鈴木君について「昨年から見ると成長が著しい、特にボールが速くなってきた。また、ピッチャーとしての自覚が出てきて、自分から積極的にトレーニングするようになった。」と話してくれました。

鈴木君のわかとり国体での活躍を期待いたします。